

周防大島町病院事業局電子カルテシステム選定提案書等作成要領

1. 提案に係る提出書類について

次の(1)～(4)の資料(以下「提出資料」という。)を作成し、提出すること。提出部数に特別な指示が無い場合は正本1部、副本1部を提出とする。

(1)電子カルテシステム選定に係る提案書(以下「提案書」という。)

①様式は自由とするが、下表の内容に従って提案書を作成すること。

②提出部数は、正本1部、副本23部とする。 ※副本の部数は予定。

③附属書類として、全てのシステム、ハードウェアのカタログ、パンフレット等を添付すること。

項番	提案項目	提案項目(詳細)	記載頁数 (目安)
1	実績	・提案する電子カルテシステムの概要 ・全国での導入実績 ・当局稼働中の電子カルテシステム(富士通 EGMAIN MX、WeMex Open-Karte)からの移行実績	4頁
2	機能や特徴	・電子カルテシステム、医事システムの構成 ・各システムの機能、特徴	5頁
3	スケジュール	・マネジメントや人員体制と実績 ・システム構築の手法、スケジュール ・リハーサル、操作練習、稼働立合、稼働後フォロー等	2頁
4	データ移行	・現行システムからのデータ移行範囲 ・移行に関する病院側作業量および負担軽減策	3頁
5	将来性	・バージョンアップの頻度と要望対応 ・法改正や診療報酬改定への対応 ・標準化(HL7 FHIR 等)への対応	3頁
6	業務改善 効率化	・各種レポートや必須事項の見落とし防止対策 ・オーダーや記録など診療業務支援機能による業務効率化 ・オーダーや文書の記載などの連携による算定漏れ防止策 ・入力業務、カルテ参照、マスタメンテナンス等の効率化 ・二重入力や伝達漏れ防止対策 ・オーダーセットなどの充実、拡張性	5頁
7	統計機能	・経営改善や臨床研究支援に資する診療情報の二次利用	2頁
8	保守	・24時間365日対応コールセンター ・対応者の現地までの到達時間 ・ハードウェア、ソフトウェアの保守体制 ・リモートメンテナンスやバージョンアップ等の対応	3頁
9	セキュリティ	・停電や災害、サイバー攻撃等への対策と復旧プロセス ・データバックアップの手法 ・ハードウェアの冗長化 ・パスワード管理、操作ログ管理	3頁
10	独自性	・働き方改革、経営健全化、職員の業務改善 ・患者利便性向上 ・他社とは違うアピールポイント	5頁

(2) 要求仕様書

「要求仕様書」に対し、回答欄、備考欄に下記の対応区分を記載し、データもメールで提出すること。

【対応区分】 A:すでに標準機能またはオプションとして満たしている。

B:未実装、未対応だが、運用中の期間内において無償で対応する。

C:別の運用で対応、または条件付で満たすことができる。

D:カスタマイズ(有償)を要し、標準機能内では対応できない。

E:満たすことが出来ない。(記載なしはEとみなす)

(3) 提案価格書(様式6)

提案価格書(様式6)をもって本プロポーザルにおける提案総額を提示すること。ただし、次期電子カルテシステムの導入先である2医療機関における設定上限額を下記のとおりと定める。この金額は、契約締結時の予定価格ではなく、業務の最大規模を示すものであり、これを超えてはならない。

＜周防大島町立東和病院＞

¥172,303,500円(消費税及び地方消費税相当額を含まない本体価格とする。)

＜周防大島町立大島病院＞

¥160,603,500円(消費税及び地方消費税相当額を含まない本体価格とする。)

(4) 電子カルテシステム見積書(以下「見積書」という。)

提案価格書金額の積算根拠となる詳細な部分については任意の見積書を併せて提出すること。ただし、見積書の税抜き額が提案価格書の金額と一致すること。

2. 全般的な留意事項

- (1) 提案者から提出された提案書類に基づきプロポーザルを実施し、その評価により採点する。そのため、仕様書の内容を的確に把握したうえで実現可能な内容を実施方針、実施方法などについて具体的に記述すること。
- (2) 当局が要求するシステムを実現するうえでの機能や処理方法などについて、記載漏れがあった場合、評価が大幅に低くなることがあるので、当局の要求を実現できるソリューションを余すことなく記載すること。
- (3) カタログだけの提案や実現不可能なソリューションは、評価が低くなるので注意すること。
- (4) 提案内容は、確実に提案者が実現できる範囲で記載すること。複数の実現方式を挙げた場合には、全て実現を約束したものとみなす。
- (5) 提出資料において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

3. 提出資料作成上の留意事項

(1) 提案書

- ① 提案書(自由様式)は、原則としてA4判両面印刷とし、ページ数はおおむね35ページ以内とする。ただし、資料、イメージ図等見やすくするためA3判を使用する場合は、A4判の大ききで三つ折りにすること。この場合において、当該A3判資料もページ数としてカウントする。表記は日本語で行うこと。
- ② 提案の内容が理解しやすいように、簡単かつわかりやすい表現で記述すること。また、評価者が漏れなく正確に評価できるよう、見出しの構成のとおり編集すること。
- ③ 1部毎にA4版2穴サイズのファイルに綴じて提出すること。
- ④ 提出書類全てをPDF形式により記録したCD-Rを1枚提出すること。

(2)要求仕様書

記載漏れのないように回答すること。

(3)提案価格書(様式6)

消費税及び地方消費税相当額を含まない本体価格とすること。

(4)見積書

下記の内容を網羅すること。ただし、下記①～④の見積書の合計金額が(3)の設定上限額を超える場合は失格とする。また、⑤についても評価対象とするため、①～④とは別に必ず提示すること。(任意様式)

①電子カルテシステム、医事システム費用

②附属する周辺機器費用

③システム接続費用

④その他、本業務に係る全ての費用

⑤保守及び運用管理について稼働後5年間の費用を提示すること。